

新規事業採択時評価項目調査書

1	事業概要	事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業 有宗地区			
		事業場所	長門市油谷久富 地内			
		事業主体	山口県			
		事業期間	平成 31 年度 ~ 平成 35 年度 (西暦 2019 年度 ~ 2023 年度)	総事業費 (用地補償費)	152 百万円 ( - 百万円)	
		事業目的	<p>有宗ダムは、築造から約30年が経過しており、標準的な耐用年数が経過した機器類や、経年劣化が顕著な施設が確認されている状況にある。</p> <p>このことから、本事業の導入により、ダム関連施設の更新整備を行うことで、施設の機能維持等を図り、安定的なかんがい用水の確保を行うとともに、受益地における持続可能な農業体系の構築を図る。</p>			
2	評価の視点	事業内容	<p>○ダム施設更新整備</p> <p>水管理施設（テレメータ等）更新 一式 取水施設（ゲート開閉装置等）更新 一式 放流施設（制水ゲート、機側操作盤等）更新 一式 ダム施設（ひび割れ補修、網場等）更新 一式</p>			
		事業効果	<p>○長寿命化対策の実施により機能確保等が図られるダム数 1基 ○安定的なかんがい用水の確保が図られる農地面積 224ha</p>			
2	社会経済状況	当地区の社会経済情勢	<p>長門市は県の北西部に位置し、東は萩市、南は下関市及び美祢市に接し、北側には北長門海岸国定公園に指定される美しい日本海が存在する。</p> <p>道路交通網は、日本海側を東西に走る国道191号線と山陰と山陽を結ぶ南北の国道316号線及び491号線の3つの主要幹線道と7つの主要県道が整備され、交通輸送の動脈として大きな役割を果たしている。</p> <p>地区の産業は水稻を基幹作物とした第1次産業が主軸であるが、キャベツ・イチゴ等の作付けも行われている。専業農家は少なく、第2種兼業農家が大半を占めている状況にある。</p>			
		関係市町及び地元の意向	<p>長門市農業振興地域整備計画において用排水施設の改修促進を掲げており、長門市や地元から早期整備の要望が強い。</p>			

2 再 評 価 の 視 点	(2) 事業の投資効果	費用対効果等 分析	(単位：千円)																																											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>事業採択時 (基準年：H30)</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①作物生産効果</td> <td>1,533,055</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費節減効果</td> <td>-16,535</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③国産農産物安定供給効果</td> <td>186,905</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④営農経費節減効果</td> <td>91,914</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>1,795,339</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①当該事業費</td> <td>132,615</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他 (関連事業費+資産価額+再整備費)</td> <td>1,193,127</td> <td>工事期間+40年</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>1,325,742</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B/C)</td> <td>1.35</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 費用(B)・便益(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>○総費用総便益比方式 ○土地改良事業の費用対効果分析マニュアル（平成30年2月：農林水産省農村振興局整備部）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な効果項目</th> <th>効果の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>農用地や水条件の改良等に伴う作物生産の量的増減を捉える効果。</td> </tr> <tr> <td>維持管理費節減効果</td> <td>事業を実施した場合としない場合における維持管理費の増減を比較した効果。</td> </tr> <tr> <td>国産農産物安定供給効果</td> <td>農用地や水条件の改良等に伴う農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	主な項目	事業採択時 (基準年：H30)	備 考	全体事業	便益 (B)	①作物生産効果	1,533,055		②維持管理費節減効果	-16,535		③国産農産物安定供給効果	186,905		④営農経費節減効果	91,914		総便益	1,795,339		費用 (C)	①当該事業費	132,615		②維持管理費	-		③その他 (関連事業費+資産価額+再整備費)	1,193,127	工事期間+40年	総費用	1,325,742		費用便益比 (B/C)		1.35		主な効果項目	効果の内容	作物生産効果	農用地や水条件の改良等に伴う作物生産の量的増減を捉える効果。	維持管理費節減効果
区分	主な項目	事業採択時 (基準年：H30)	備 考																																											
		全体事業																																												
便益 (B)	①作物生産効果	1,533,055																																												
	②維持管理費節減効果	-16,535																																												
	③国産農産物安定供給効果	186,905																																												
	④営農経費節減効果	91,914																																												
	総便益	1,795,339																																												
費用 (C)	①当該事業費	132,615																																												
	②維持管理費	-																																												
	③その他 (関連事業費+資産価額+再整備費)	1,193,127	工事期間+40年																																											
	総費用	1,325,742																																												
費用便益比 (B/C)		1.35																																												
主な効果項目	効果の内容																																													
作物生産効果	農用地や水条件の改良等に伴う作物生産の量的増減を捉える効果。																																													
維持管理費節減効果	事業を実施した場合としない場合における維持管理費の増減を比較した効果。																																													
国産農産物安定供給効果	農用地や水条件の改良等に伴う農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果。																																													
3 環 境	(3) コスト縮減・代替案等の可能性	コスト縮減	特になし。																																											
		代替案	地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな更新整備等を実施し、地域農業の振興を図る事業は本事業のみである。																																											
		配慮事項	現存するダム施設の更新整備のため、環境への影響は特になし。																																											